

国・重要無形民俗文化財「日田祇園」

平成25年度

日田祇園は、約500年前に夏の厄除け行事として始まったと伝わっています。祭神（さいしん）は素盞鳴尊（すさのおのみこと）。豆田八坂神社・隈八坂神社・竹田若宮神社の三社の祭礼行事で、平成8年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

神輿の御神幸にお供する山鉾は、現在8つの町内に9基が造られています。全て町内の人達による手作り、歌舞伎から題材を取った場面が飾りつけられ、日田唯一の祇園人形師「長嶋静雄」さんの手により山鉾に乗せられた人形に命が吹き込まれます。この飾りは毎年変えられますが、現在では隈の日田祇園山鉾会館にて隈・竹田地区の山鉾だけ一年中見ることが出来ます。

現在の山鉾の高さは、最大級の平成山鉾で11メートル、隈・竹田地区の山鉾が8～10メートル、豆田地区の山鉾は電線の関係で6メートル、重さも3トンから5トンとなっています。かつては、江戸時代末期に高さ20メートルを超える山鉾も存在しました。これは当時の日田商人たちが、幕府直轄の天領という後ろ盾を背景に町内ごとに山鉾に形を変えて財を競ったもので、山鉾背面の「見送り」と呼ばれる垂れ幕にもその名残を見ることが出来ます。

また、山鉾内で演奏される日田祇園囃子は、徳川末期から明治中期までの俗曲や端唄を篠笛にアレンジしたもので、1基の山鉾に笛4～5人・太鼓、三味線各1人が乗り込み、独特の音色で山鉾巡行に華を添えます。

日田祇園 今年げだいの山鉾華題と見送り

町名	山鉾華題	見送り
豆田地区	豆田上町 <small>すがわらでんじゆてならいかみ</small> 菅原伝授手習鑑 車引きノ場	天保11年（1840）製作「鯉の滝上り」
	港町 <small>きとみはつけんてん</small> 里見八犬伝 芳流閣ノ場	平成22年（2010）復元新調「牡丹に唐獅子」
	豆田下町 <small>げんべいせいすいき</small> 源平盛衰記 衣川ノ戦い	天保7年（1836）制作「鳳凰」
	中城町 <small>しすかだけのしちほんやり</small> 賤ヶ岳ノ七本槍	嘉永2年（1849）製作「玄武」
平成山鉾	<small>うしわかまるしゅげんのぼ</small> 牛若丸修験乃場	（見送りはありません）
隈・竹田地区	川原町 <small>にほんふりそではじめ</small> 日本振袖始	平成8年（1996）製作「素盞鳴尊大蛇退治」
	三隈町 <small>ちんせつゆみはりづきおおしま</small> 椿説弓張月大島の場	昭和60年（1985）製作「龍」
	大和町 <small>こたいへいさしらいしぼなし</small> 暮太平記白石斬	明治39年（1906）制作「鷲」
	若宮町 <small>ことぶきしゅうじょう</small> 寿猩猩	昭和58年（1983）製作「唐獅子」

日田祇園祭

日程 7月25日（木）日田祇園集団顔見世 JR日田駅前／午後7時～

7月27日（土）・28日（日）

※豆田地区 午前9時～午後10時

晩山 27日 午後7時頃～ 一新橋
28日 午後7時頃～ 御幸橋

※隈・竹田地区 午前9時～午後10時

晩山 27日 午後7時30分頃～ 隈八坂神社～札の辻～若宮神社
28日 午後8時頃～ 札ノ辻

問い合わせ 日田祇園山鉾振興会（日田祇園山鉾会館）24-6453
日田まつり振興会（日田市観光振興課）22-8210
日田市観光協会・・・22-2036